

互いに認め支え合い、安心して笑顔で過ごせる学校をめざし、令和7年度がスタート！

4月9日(水)に入学式を挙行し、多くの保護者と来賓の方々のご臨席のもと、無事に102名の新入生を迎えることができました。厚く御礼申し上げます。これで、全校生徒344名と全職員37名が揃い、令和7年度八代市立第四中学校が力強くスタートしました。

始業式や入学式で、校訓と学校教育目標についてお話しました概要についてお伝えします。

《校訓》「優しく 正しく 遅しく」

「優しく思いやりのある生徒」「正しく真理を探究する生徒」「逞しく心身を鍛える生徒」になって欲しいという願いが込められており、四中の卒業生の誰もが大切にしてきた精神・心で、在校生も強く意識しています。



【学校教育目標】「夢と志をもち、自ら正しく判断し行動できる、逞しい生徒の育成」

〈スローガン〉～互いに認め支え合い、安心して笑顔で過ごせる学校をめざして～

これまでの先輩達のように、それぞれの夢に向かって志を立てて努力し、実現させてほしいと思います。ここで忘れないでほしいのは、自分の夢を実現するには自分一人の力だけではできないということです。共に学び、喜びや苦労を分かち合う仲間やそれを支える地域や保護者、そして先生方が必要です。そこで、校訓の姿に近づき、夢を実現させるため、「お互いのよさや成長を共に認め合い喜びを分かち合うことを心がける」ことを意識して生活してください。中学校三年間は心も体も大きく成長し、その幅やスピードは人それぞれです。心が成長することで、これまで気づかなかった仲間のよさや特長に気づくようになります。一方で、自我に目覚めて自分を客観的に見る力がつき、他の仲間と意味のない比較をして落ち込むこともあります。そこで、仲間の悲しさや悔しさを自分のことのように感じて寄り添う感性を一人一人がもち、互いのよさや成長に気づき、認め、褒め、励まし合うことを通して、よりよい信頼関係を築くことができます。

こうして信頼関係が深まると、一人一人が四中に自分の居場所をもつことができ、安心して個性や能力を発揮できるようになります。そんな中、一人一人の出番と活躍の場が広がることで、自己肯定感や自己有用感が高まり、学校に輝く笑顔があふれ充実した生活を送ることができます。そして、一人一人が「四中生でよかった。」「四中でみんなと学べてよかった」と感じ、地域や保護者の方々、先生方から笑顔で次の進路に送り出してもらえます。みんなで共に認め支え合い、安心して笑顔で過ごせる学校にしていきましょう。

子どもたちが、互いのよさや頑張りを認め合い励まし合いながら、安心して笑顔で過ごし、夢に向かって努力できるよう、全職員でお手伝いしていきますので、昨年度に引き続き、今年度も保護者や地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願ひいたします。